

冬の燃料費 引き続き支援

10月議会臨時会 町長提出議案

議案番号	議案名及び議案の主な内容
議第86号	令和7年度金山町一般会計補正予算(第6号) 補正予算額 340万円 補正後予算額 54億300万3千円 ・福祉燃料購入支援事業費補助金 75万7千円 ・農作物渇水対策事業費補助金 150万円 ・金山小学校プール等災害復旧工事 78万8千円 など
議第87号	普通河川鍋倉川支川河川災害復旧工事変更請負契約の締結について ・工事に伴う土砂処理方法の変更により537万3,500円を減額し、変更契約を締結するもの

健康福祉課長 現在の福祉燃料購入支援事業の対象は、70歳以上のひとり暮らし世帯、65歳以上の高齢者夫婦2人暮らし世帯、高齢者のみ世帯、65歳以上高齢者世帯の中で1人でも70歳以上

中村議員 現状の対象世帯の状況と、今後の対象世帯の考え方は。

除雪対策費について、豪雪対策本部が設置された場合は、拡充して対応して参りたい。

健康福祉課長 ここ数年、物価高、豪雪を見込み、特例で2500円を上乗せしてきた。詳細は不明であるが、物価高騰がある程度落ち着いてきたこと、暫定税率の部分も見直される動きがあるということを見込んでいると想像している。

中村忠行議員 福祉燃料購入支援事業費補助金の財源である県支出金はなぜ減額になったのか。また、町豪雪対策本部が設置された場合、例年ごおり増額対応するのか。

〔議第86号 令和7年度 金山町一般会計補正予算(第6号)〕

議案への質疑応答要旨

新年明けましておめでとうございませう。町民の皆様には、健やかに令和八年の新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

金山町は、町制施行百周年という大きな節目を越え、次の時代に向けた新たな歩みを進めております。

これまで一度も合併することなく、先人の皆様を守り育ててこられた歴史と伝統、そして人と人とのつながりは、今もなお金山町の大きな財産であります。昨年を振り返りますと、自然災害への備えや復旧、物価高騰への対応など、町民生活に直結する課題が引き続き顕在化した一年でありました。

その一方で、ふるさと納税の拡充や地域資源を生かした産業振興、公共施設の取得・活用など、将来を見据えた取り組みも着実に進められてまいりました。令和八年は丙午(ひのえうま)の年にあたります。

変化を前向きに捉え、金山町らしい持続可能なまちづくりを進めていくことが重要であると考えております。

金山町議会といたしましても、町民の声に真摯に耳を傾け、行政との緊張ある議論を通じて、より良い町政の実現に向け全力で取り組んでまいります。

結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸、そして令和八年が金山町にとって実り多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

令和八年一月吉日
金山町議会議長 栗 田 保 則
金山町議会議員一同

「次の時代へ確かな歩みを」



環境整備課長 土砂の運搬は議決前であり、一切していない。

中村議員 既に運んでいるのか。

環境整備課長 工期が10月31日となっており、農繁期中の土砂運搬は十分注意して行なう。

中村忠行議員 稲刈りなど農繁期の中で、土砂を運搬する際は、農家の方の都合も考え工事に当たってもらいたい。

〔議第87号 普通河川鍋倉川支川河川災害復旧工事変更請負契約の締結について〕

がいる世帯、身体障害者手帳1級、2級、精神障害者福祉手帳1級、療育手帳A所持世帯、未成年者がいるひとり親世帯、要介護が4又は5、若しくは同程度の状態の方がいる世帯など多岐にわたっている。今後、世帯を拡充していくかどうかは、状況に応じて判断させていただきたい。

須藤典夫議員 蒲沢地内の堆積した土砂に関しては県が管理するのか。また、堆積した土砂が下手の民家に流出することはないのか。

産業課長 今後堆積した土砂は、町で管理する。堆積場所の指定をしており、万が一の災害などで土砂流出はないものと想定している。堆積場所の所有者から、無償で土地をお貸ししていただけることこの了解を得て、事業を進めている。



鍋倉川支川災害復旧工事



後列 左から 宮林聡志議員 星川智子議員 中村忠行議員 大場洋介議員 五十嵐優一議員
前列 左から 寒河江宏一議員 沼澤道也議員 栗田保則議員 矢口政一議員 須藤典夫議員